

### JINS 紫外線対策レター

## 肌の老化の原因の約 8 割は紫外線！

### 眼と目元を守るサングラスで、万全な紫外線対策を

夏本番、1年で最も「紫外線対策」が欠かせないシーズン<sup>※1</sup>がやってきます。紫外線対策における最重要アイテムの一つが「サングラス」です。

2015年、株式会社ジェイアイエヌ（東京本社：東京都千代田区、代表取締役社長：田中仁）が展開するアイウェアブランド「JINS」では、豊富なラインアップのサングラスを取り揃えました。多くの方にサングラスを有効活用していただけるよう、“意外と知らない紫外線の正しい知識と対策方法”をお届けいたします。第1弾は「**眼の紫外線対策が、美容に有効な理由**」をテーマにお送りします。

#### 眼の紫外線対策が、美容に有効な理由～ドクターが教える紫外線対策のポイント～

今回はアンチエイジングを専門にされ、内科・皮膚科・眼科医である「Rサイエンスクリニック広尾」院長の日比野佐和子先生に紫外線対策のポイントを伺いました。

#### ◎薄くデリケートな目元の皮膚。しみ・しわの原因となる紫外線ブロックには、サングラスが有効

Q.紫外線は肌にどのような影響を与えるのでしょうか？

A. しみ・そばかす・しわやたるみなど、肌の老化の原因の約 8 割が紫外線によるものであると言われています。特に目の周りの皮膚は、他の身体の皮膚の 1/8～1/10 と非常に薄くデリケートで、紫外線をはじめとする様々な外からのダメージを受けやすい上に対策をしづらい部分。サングラスを掛けることで、眼そのものを守るだけでなく、目元の皮膚の紫外線対策も手軽に行うことが可能なのです。



#### ◎眼から入った紫外線がもとで日焼けしてしまう可能性も！

Q.眼から入った紫外線がもとで日焼けすると聞きました。本当でしょうか？

A. 眼から体内に侵入する紫外線が元で日焼けしてしまう可能性もあり、十分な対策が必要と考えます。マウスを用いて行った実験<sup>※2</sup>では、眼から侵入した紫外線が原因でメラニンが生成され、肌が日焼けするという結果が確認されました。眼が強い紫外線を感じると、脳が周囲の日差しが強いと判断し、身体を守るためにメラニンを生成するというメカニズムだと考えられます。



あくまでもマウスを用いた実験の結果ですが、人間の身体でも同様の作用が起こる可能性は否定できず、眼から入る紫外線にも十分な注意を払う必要があります。

#### ◎美容の為に、最も有効な紫外線対策とは？

Q.肌や目元の老化を防ぐために、特に夏場に取り組むべき紫外線対策について教えてください。

A. まずは外からの紫外線をブロックすること。日焼け止め、帽子、日傘、袖のある衣服やアームカバーの着用などいずれも有効な対策となります。ただ、前述の通り、いくら肌の紫外線対策を徹底していても、目の周りのデリケートな皮膚や眼そのものをしっかりと紫外線から守らなければ万全とは言えません。その点で、紫外線を 99.9%以上カットできるカット率の高い「サングラス」は、非常に有効な対策アイテムの一つであると考えます。また、サングラス選びの際は、レンズの色で判断するのではなく、必ず紫外線がカットされているサングラスを選ぶことが重要です。



#### 【「Rサイエンスクリニック広尾」院長・医学博士 日比野佐和子先生】

大阪大学医学部大学院医学系研究科卒業・博士課程修了。現、大阪大学医学部大学院医学系研究科臨床遺伝子治療学講座特任准教授。同志社大学アンチエイジングリサーチセンター講師、森ノ宮医療大学保健医療学部准教授、レイ・パストゥール医学研究センター基礎研究部アンチエイジング医科学研究室室長を経て、平成25年に当院 院長に就任し現在に至る。専門分野は欧米のアンチエイジング医学に加え、中医学、ホルモン療法、プラセンタ療法、植物療法（フィトセラピー）、アフェレーシス療法など多岐にわたる。

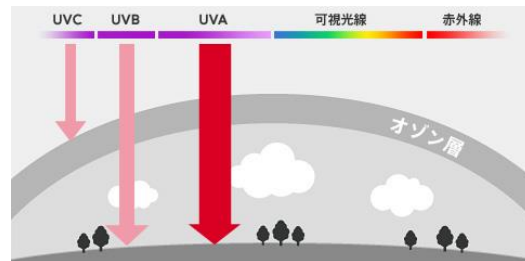
※1 紫外線が人体に及ぼす影響の度合いを指標化した「UVインデックス」（値が大きいほど人体に及ぼす影響が大きい）によれば、日本では例年7～8月が1年で最も値が大きくなる。世界保健機関（WHO）では、UVインデックスを活用した紫外線対策の実施を推奨している。

※2 Ultraviolet B Irradiation of the Eye Activates a Nitric Oxide-dependent Hypothalamopituitary Proopiomelanocortin Pathway and Modulates Functions of alpha-Melanocyte-stimulating Hormone-responsive Cells, Journal of Investigative Dermatology (2003) 120, 123-127

## 【参考 1】紫外線の種類と人間の身体への影響

紫外線には「UV-A」「UV-B」「UV-C」の3種類が存在します。波長が短い順に UV-C、UV-B、UV-A であり、波長が短いほどエネルギーが強く身体への影響は大きくなります。

最も波長が短くエネルギーが大きい「UV-C」はオゾン層で吸収されるため、実際に地上まで到達するのは「UV-B」と「UV-A」です。UV-B はエネルギーが強いため肌が赤くなる日焼け(サンバーン)を引き起こし、シミやそばかす、皮膚がんの原因になると言われています。一方、UV-A はエネルギーが弱いので UV-B ほど急激な肌の変化を引き起こすことはありませんが、肌の奥深くまで到達し長い時間をかけてしわやたるみなど様々な悪影響を及ぼすと言われています。夏を楽しむためにもしっかりと対策をして、紫外線から身体を守ることが大切です。



## 【参考 2】紫外線 99.9%カット。種類も豊富な JINS の 15SS サングラスコレクション

JINS の 15SS サングラスコレクションは、ファッションやシーンに合わせ 7 つのシリーズをラインアップ。どんなファッションにも取り入れやすいデザインで日常使いに最適な「BASIC」、今年のトレンドを取り入れたフレームデザインでファッションを格上げできる「MODE」、夏のリゾート気分を盛り上げる華やかな「RESORT」、16色のフレームとミラーレンズの組み合わせが楽しめる「COLORS」、ストリート系ファッションにぴったりな「TOWN SPORTS」、折りたたみ式で持ち運びに便利な「FOLDING」、子どもの目を紫外線からしっかり守る「KIDS」。大好評だった昨年の 14SS コレクションは夏目前に完売し、今年は倍以上のラインアップを投入します。

もちろん、JINS のメガネ・サングラスは全て紫外線カット率 99.9%。ファッションのアクセントとしてオシャレを楽しみながらも、しっかり紫外線対策をすることが可能です。シーンに合わせていくつも使い分けたいくなるデザイン展開と安心の機能性で、必ず自分に似合うサングラスが見つかります。



【商品名】JINS 15SS サングラスコレクション

【発売日】2015年4月9日(木)～順次展開

【価格】¥3,900～¥5,900 (+税)

※15SS サングラスコレクションは度付き対応不可。度付きをご希望の場合は、通常の視力矯正用フレームと組み合わせて、カラーレンズをご利用ください。

【販路】全国の JINS 店舗、JINS オンラインショップ (<http://www.jins-jp.com/>)、一部 LOFT 店舗

※店舗により取扱商品が異なる場合があります。

### 本件に関するお問合せ先

(株) ジェイアイエヌ 広報担当 岡田・官野

TEL : 03-5275-7401 / FAX : 03-5275-7402 / Mail to : [pr@jin-co.com](mailto:pr@jin-co.com)

JINS PR 事務局<(株)サニーサイドアップ内> 担当 蜂須賀・小林

TEL : 03-6894-3200 / FAX : 03-5413-3050 / Mail to : [jins@ssu.co.jp](mailto:jins@ssu.co.jp)